

嫌いなことを繰り返し成長

明日まで期末考査ですが、調子はどうですか？勉強の成果を発揮できていますか？皆さんがテスト中ということもあり、今回は成長するための秘訣をお伝えします。

それは、人は「嫌いなことでしか成長できない」ということです。誰でも、好きなこと、得意なことだけをしていたいと思いますよね。私はサッカーが好きだし、学校が大好きです。でも、サッカーで走らされるのは嫌いで、新しいことを覚えたり、難しい勉強をしたりすることも好きではありません。それでも、好きなサッカーを続けるため、大好きな学校で働き続けるためには、嫌いなトレーニングや勉強を繰り返して自分磨きを続けたいといけなのです。

このことを皆さんはどう思いますか？得意な種目を、好きな練習だけ繰り返ししている人と、嫌いな練習も繰り返ししている人では、成長するのはどちらか分かりますよね。皆さんには、是非、**得意じゃないこと、どちらかと言ったらやりたくないことに果敢にチャレンジ**

してほしいです。かいた汗は決して嘘をつかないといいますが、汗のかき方も大切です。自分には無理とあきらめてしまう人は、仕事でも相手を信用できないのでは・・・その結果、周囲の協力が得られなくなり、一人で仕事を前に進めることができなくなるはず。社会が皆さんに求めているのは協働する力で、前に進もうとする力です。

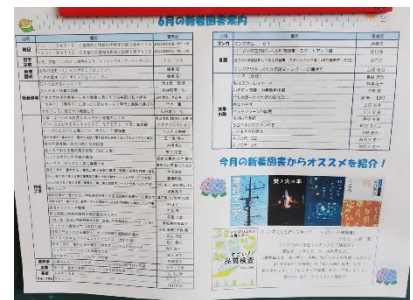
期末考査、残り1日、「もう、いいや」と投げやりになることなく、**最後まで自分磨き**をしてみてください。きっと成長することができます。そんな皆さんを応援してくれている先生方も、**果敢に新しいこと、難しいことに挑戦**を続けています。楽しい学校であり続けるために。



ぶらり、あらこう散歩

教室の掲示物には先生方の思いが詰まっていますね。授業中の先生方の熱の入った説明と同様に、掲示物にも思いが込められています。ぜひ、皆さんには、相手が何を伝えようとしているのかを読み取る努力をしてほしいです。直ぐにはできないかもしれませんが、相手の意図を理解する「読解する力」は社会に出てからも求められる力です。

さて、先週、皆さんの教室の掲示物で、6月の新着図書案内のオススメに心を引かれました。夏目漱石の「こころ」や「焚火の本」と並べられた「電柱マニア」の紹介に、あっという間に何が書かれているのか興味が高まりました。



直ぐに図書室で本を借り表紙を開くと、「ディープな電柱の世界によろこそ」の言葉に迎えられ、電力会社に勤めているわけでも、専門家でもない筆者が一人の電柱マニアとしての世界観を展開します。**きっと電気のことを学んでいる皆さんなら、もっと筆者が語る電柱の魅力を理解することができるでしょうね。**私は、電柱には「電力柱」「電信柱」「共用柱」があるのを初めて知り、普段の生活でも電柱を見上げてしまっています。マニアの一歩目でしょうか。



それにしても、この新着図書案内は、「技術工学」の分類が23冊紹介されるなど工業高校らしさを感じます。「全部絵で見て覚える！電気工事士」「電気工事が一番わかる」「電気設備の基本と仕組み」などなど・・・期末考査終了後に、**図書館で自分磨きの題材を探してみてください。**

汗を出し尽くせ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」